

テーマ②

『日常生活療養（急変時対応含む）』 に関する報告

東淀川区在宅医療介護連携相談支援室の取組み

東淀川区在宅医療介護連携相談支援室
(受託法人 東淀川区医師会)

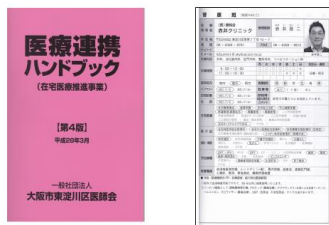
1. 多職種の現状把握

- ・ 医科・歯科診療所、病院、薬局、訪問看護ステーションへの聞き取り調査
- ・ 医師会が発刊する「医療連携ハンドブック」、「かかりつけ医療機関安心マップ」、「かかりつけ医認知症相談マップ」の定期的な更新
- ・ 訪問看護ステーション連絡会からの訪問看護ステーション情報の掲載されたパンフレット
- ・ 在宅医療(医・歯・薬・訪看)連携推進ハンドブックの作成
- ・ 医師会が中心となり多職種連携ネットワーク「こぶしネット」

在宅医療(医・歯・薬・訪看)連携推進
ハンドブック



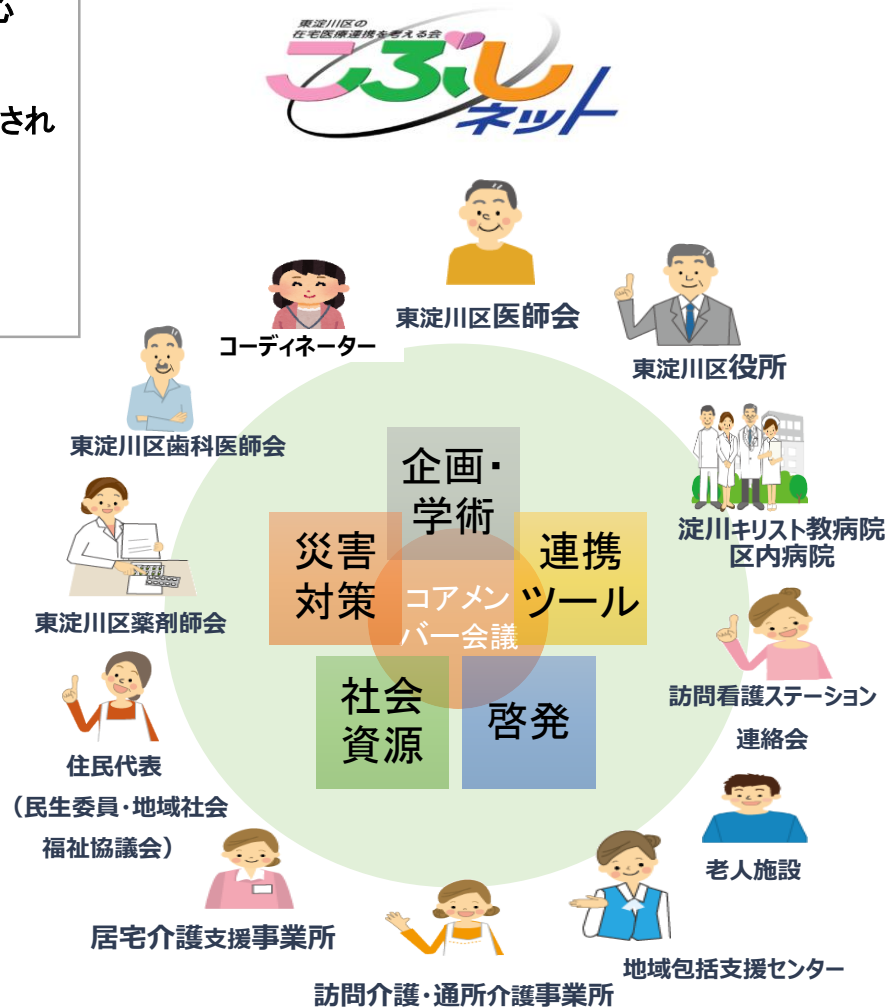
在宅医療連携ハンドブック



かかりつけ医療機関安心マップ



かかりつけ医認知症相談マップ



2. アンケート調査の実施

目的: 東淀川区における医療・介護連携課題の抽出

対象者: 医療関係者(医師会会員・歯科・薬剤師・訪問看護ステーション・病院地域連携室)

介護関係者(ケアマネジャー・地域包括・訪問介護・介護施設)

3. 職種別のまとめ

医療関係者

開業医

- 24時間365日対応の負担感
- 患者の急変時受け入れのバックベットの確保が必要
- ケアマネの医療に対する知識不足

歯科・薬剤師

- 医療・介護連携が十分でない
- 入退院時に連絡がない
- 会議への参加依頼がない

勤務医

- 在宅での看取りの方針となっていた方が、救急搬送される
- 治療後の行き場がない
- 誤嚥性肺炎を繰り返す

訪問看護師

- 看看連携が十分でない
- 病院スタッフは医療介護連携への理解が乏しい
- 区役所保健師との連携が十分でない

地域連携室

- 退院前カンファレンスに医師の参加が少ない
- 在宅でのACPについての話し合いがない

介護関係者

ケアマネジャー

- 医師に対して敷居が高い
- 医師の生活の視点がない
- 介護保険制度についての知識不足

地域包括・ブランチ

- 成年後見制度等についての医師の知識不足
- 病院医師・看護師との連携がとりにくい
- 認知症のある方の入院受け入れが困難

訪問介護

- 医療系サービスに連絡しにくい
- ヘルパーの業務を理解していない
- カンファレンスで専門用語が出て、わからない

介護施設

- 医療・介護連携が十分でない
- 施設が対応できる医療環境への理解が乏しい
- 施設同士の横のつながりがない

アンケートから見えてきたこと

- ・連携不足
- ・他職種間の相互理解不足
- ・知識不足
- ・情報共有ができていない

東淀川区医師会の取組み

区内の医療介護関係者向けに研修会や講演会を実施

4. とりくみ

1) 多職種連携のための研修会 (お互いの職種に対する理解)

- ①在宅医療連携研修会 (対象: 医師会員・多職種)
- ②東淀川区の在宅医療連携を考える会 (対象: 多職種・区役所・地域)
- ③居宅介護支援事業所と医師会合同研修会 (対象: 医師会員・ケアマネジャー)
- ④介護職のための在宅医療連携研修会 (対象: ヘルパー・ケアマネジャー)
- ⑤医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション合同研修会
- ⑥居宅介護支援事業所・訪問看護ステーション合同研修会
- ⑦保健師と訪問看護師の合同研修会



2) 地域包括ケアシステム構築に向けた協議会 (連携体制の構築)

- ①在宅医療病診連携協議会
- ②地域医療連携を考える会 (対象: 病院地域連携室・コーディネーター)
- ③関西医科大学附属滝井病院・医師会病診連携懇談会
- ④淀川区医師会・東淀川区医師会在宅医療連携協議会
- ⑤地域医療連携を考える会 (対象: 地域連携室・訪問看護師)
- ⑥保健師と訪問看護師の意見交換会



3) 在宅医を増やすための研修会

① 同行訪問研修

内容: 座学 「訪問診療の始め方」
「在宅医療での薬の使い方」

同行訪問 アドバイザー医師 1名
同行訪問研修医 2名



4) 区民啓発のための講演会等

① こぶしネット市民公開講座



こぶしネット啓発グループによる寸劇
「わし、この家が好きやねん」

② 広報「ひがしよどがわ」への掲載

「住み慣れたまちで最期まで」をささえる
在宅医療

在宅医療ってなあに??
Aさん(82歳)は心臓が悪く、前に水がたまり、病院で入院治療を受けて、症状が落ち着いたので1か月ぶりに我が家に帰ってきました。退院に際して、体に不安があっても、我が家で自分らしい生活を望んでいました。退院前に、病院の先生や看護師さん、訪問診療をもらうかかりつけ医の先生や訪問看護師さん、ケアマネジャーの方などが集まって、専門職のみならずサポートに入ってもらったことになりました。

先生「Aさん、ゆうへはよく眠れましたか?」
Aさん「うん、久しぶりによく眠れたよ」
先生「つかないですか?」
Aさん「病院にいた時のほうがよっぽどつらかったよ。ここに帰ってみんなの顔を見ていると、気分がよくなって身体も楽になったよ。おなかも空いてきたし。」
ご歳の炊けるおにぎりにまじって薬味が焼けるにおいが漂ってきました。
Aさん「退院できてよかった、やっぱり我が家はいいよ。」

「ずっと我が家で暮らしたい」
そんな思いを大切に私たちが支援します!

医師会では、かかりつけ医(在宅医)の確保・研修等の充実、またこぶしネットとの連携により高齢者が安心して安心して地域で生活していけるように在宅医療の推進をはかっています。

東淀川区医師会
春日雄高